令和７年度　御用聞き便　報告書

令和７年８月

１　目　　的　：市内企業の声を集め、よりニーズにあった施策を行うための情報を収集する

２　方　　法　：御用聞きシートを郵送し、FAXにて回答を受ける（記名式）

３　発 送 日　：　令和7年6月23日　（月）

４　送 付 先　：　906　社　　※未着を除いた実数

５　集 計 日　：　令和7年8月15日　（金）

６　回 答 数　：　174　社　　（回答率：　19.2%　）※令和６年度117社(12.8%)

７　訪問等数　：　26　件　　※訪問、電話等で御用聞きを実施した数

【企業規模別】

企業規模	大企業	12 社
	中小企業	162 社
	うち小規模企業	74 社
計		174 社

※ 企業規模の区分は、次のとおり。

(1)　大企業　(2)中小企業の基準を超える企業

(2)　中小企業

ア　製造業、その他の業種：資本金等3億円以下又は常時使用する従業員の数300人以下

イ　卸売業：資本金等1億円以下又は常時使用する従業員の数100人以下

ウ　小売業：資本金等5000万円以下又は常時使用する従業員の数50人以下

エ　サービス業：資本金等5000万円以下又は常時使用する従業員の数100人以下

(3)　小規模企業

ア　製造業、その他の業種：常時使用する従業員の数20人以下

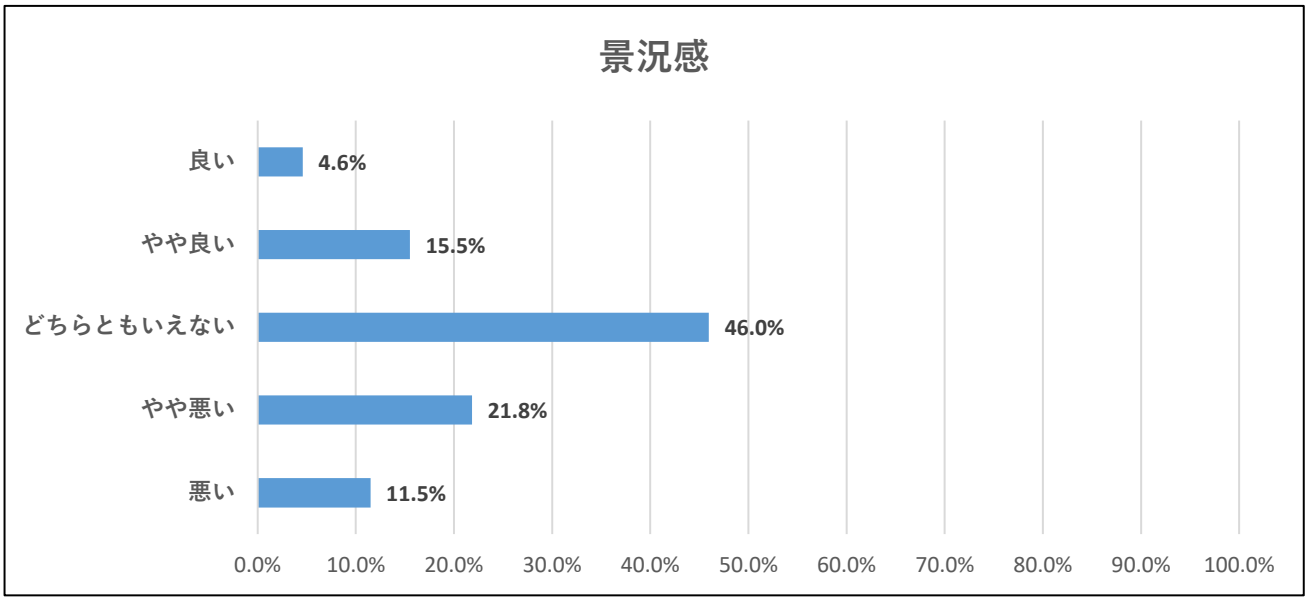
イ　卸売業、小売業、サービス業：常時使用する従業員の数5人以下

【業種別】

		全体	（内訳）		
			大企業	中小企業	うち小規模
業種	製造業	48	7	41	17
	運輸業	12	0	12	2
	建設業	53	0	53	39
	卸売業	10	0	10	1
	小売業	19	4	15	8
	サービス業	23	1	22	4
	その他	9	0	9	3
計		174	12	162	74

Ｑ１（１） 景況感について

選択肢	回答数	割合（/n）
良い	8	4.6%
やや良い	27	15.5%
どちらともいえない	80	46.0%
やや悪い	38	21.8%
悪い	20	11.5%
計	173	
全体の回答者数（n）	174	

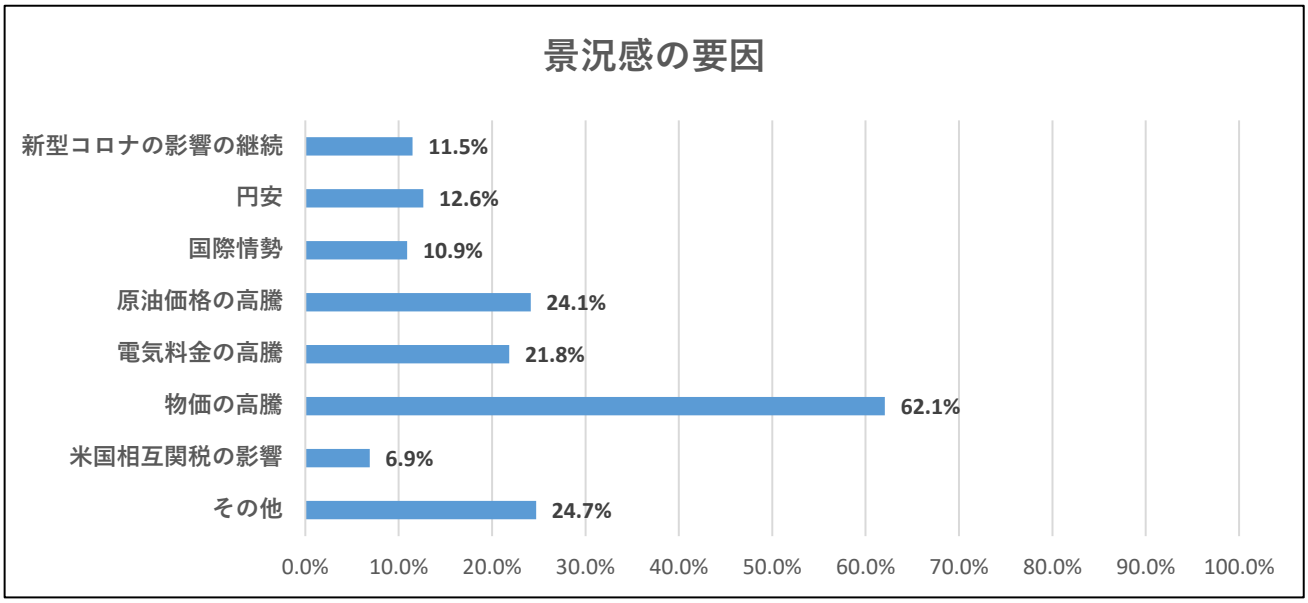


「悪い」「やや悪い」を合わせると33.9%（41.2%）であり、「良い」「やや良い」を合わせた19.9%（17.5%）を上回っている。
前年度と比較すると数値はやや回復傾向にあるものの、市内企業の景況感は依然として悪い状況であると言える。

※（）内は前回調査（R6.8）の値、以下同様

Ｑ１（２） 景況感の要因

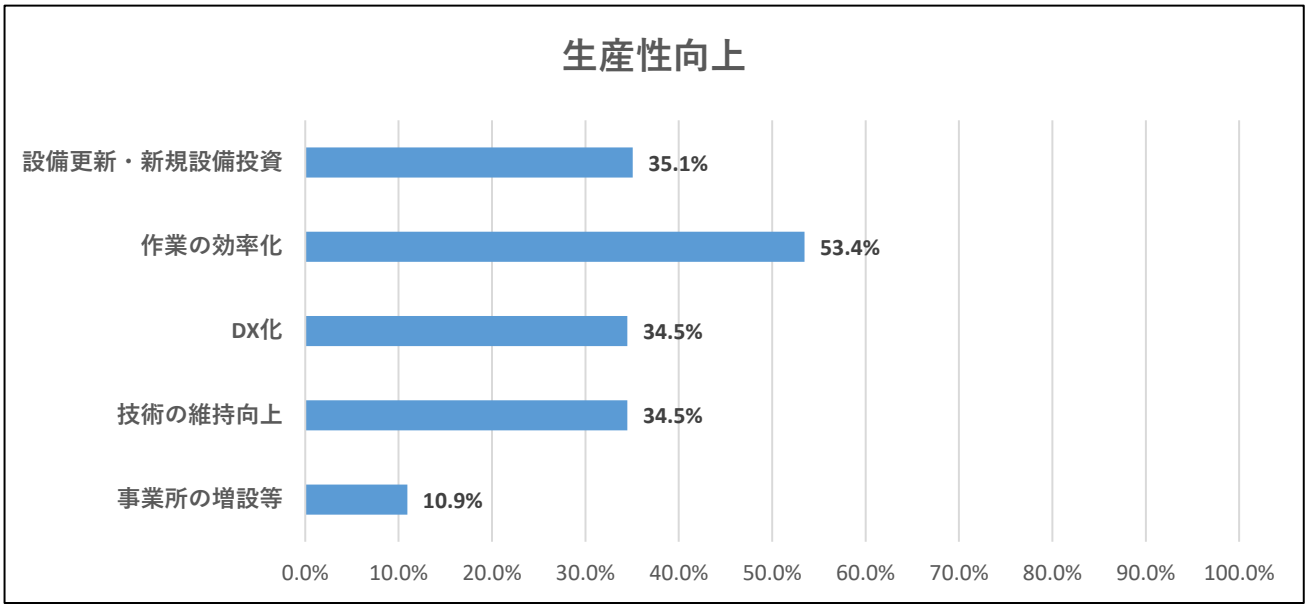
選択肢 【複数回答可】	回答数	割合（/n）
新型コロナの影響の継続	20	11.5%
円安	22	12.6%
国際情勢	19	10.9%
原油価格の高騰	42	24.1%
電気料金の高騰	38	21.8%
物価の高騰	108	62.1%
米国相互関税の影響	12	6.9%
その他	43	24.7%
計	304	
全体の回答者数（n）	174	



「物価の高騰」が62.6%（62.3%）、「原油価格の高騰」が24.6%（30.7%）となっており、景況感の悪化の要因となっている。
また、「新型コロナの影響の継続」が11.7%（21.9%）と、前回調査から改善傾向にある。

Ｑ２ 今後取り組みたいことについて
（１）生産性向上

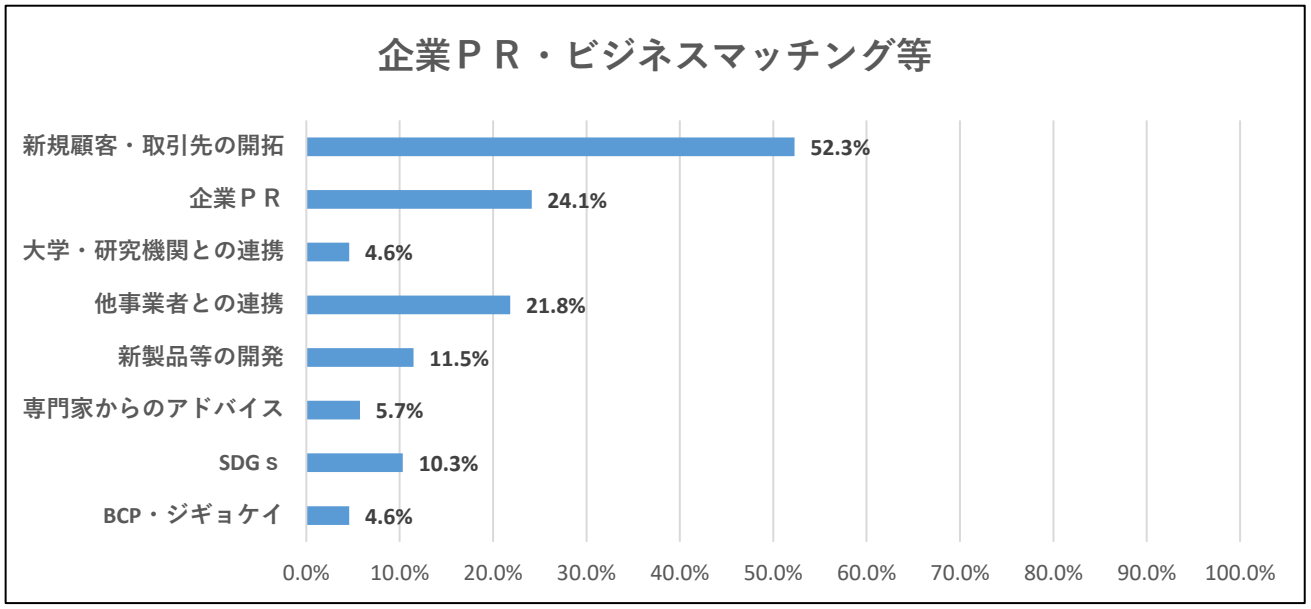
選択肢 【複数回答可】	回答数	割合（/n）
設備更新・新規設備投資	61	35.1%
作業の効率化	93	53.4%
DX化	60	34.5%
技術の維持向上	60	34.5%
事業所の増設等	19	10.9%
計	293	
全体の回答者数（n）	174	



「作業の効率化」53.2%（65.8%）、「技術の維持向上」35.1%（44.7%）、「設備更新・新規設備投資」34.5%（32.5%）の順であるが、いずれも回答数が多く、生産性向上への関心の高さがうかがえる。
業種別に見ると、「作業の効率化」は全業種で割合が高かったものの、「設備更新・新規設備投資」は「製造業」「運輸業」の割合が、「技術の維持向上」は「建設業」の割合が高く、業種によって差があった。

（２）企業PR・ビジネスマッチング等

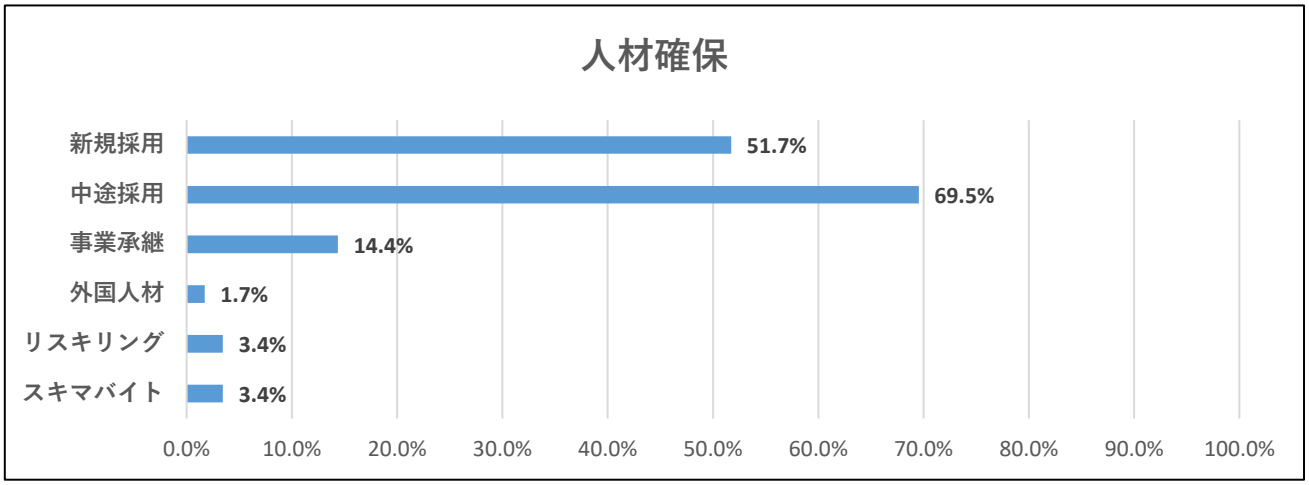
選択肢　【複数回答可】	回答数	割合（/n）
新規顧客・取引先の開拓	91	52.3%
企業ＰＲ	42	24.1%
大学・研究機関との連携	8	4.6%
他事業者との連携	38	21.8%
新製品等の開発	20	11.5%
専門家からのアドバイス	10	5.7%
SDGｓ	18	10.3%
BCP・ジギョケイ	8	4.6%
計	235	
全体の回答者数（n）	174	



「新規顧客・取引先の開拓」が52.8%（50.0%）と最多となっている。特に規模別では「中小企業」が53.2%と「大企業」の41.7%に比べ回答率が高く、中小企業のビジネスマッチングへの関心の高さがうかがえる。

（３）人材確保

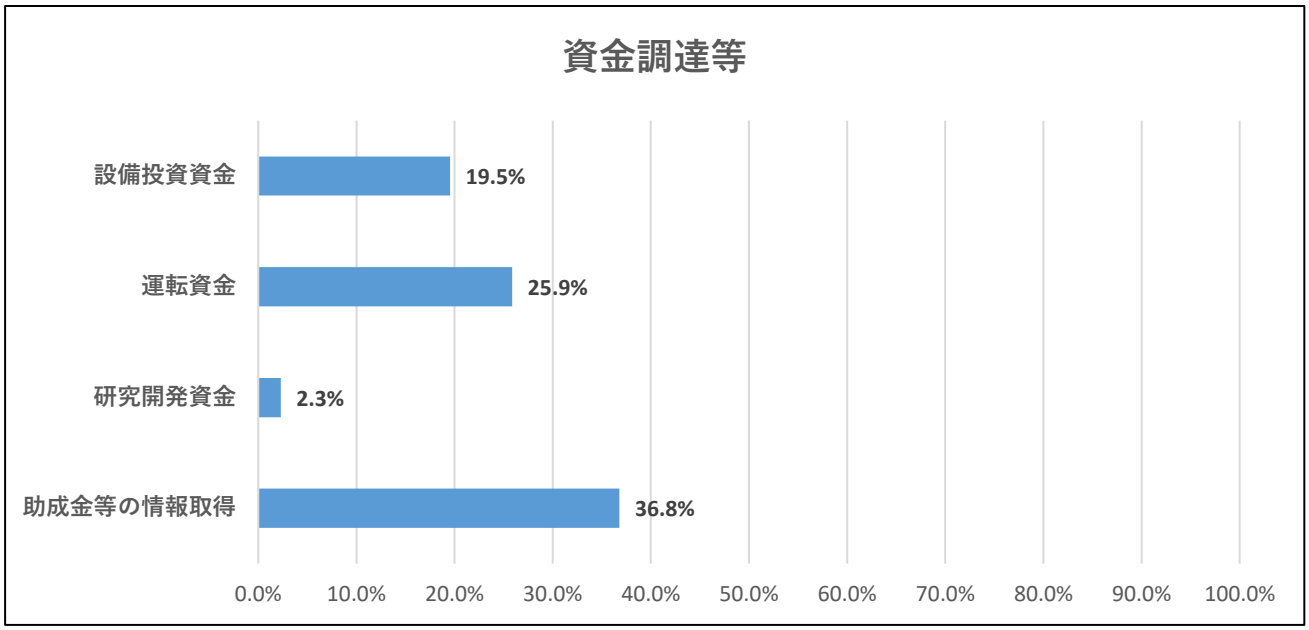
選択肢　【複数回答可】	回答数	割合（/n）
新規採用	90	51.7%
中途採用	121	69.5%
事業承継	25	14.4%
外国人材	3	1.7%
リスキリング	6	3.4%
スキマバイト	6	3.4%
計	253	
全体の回答者数（n）	174	



「新規採用」が52.0%（50.0%）、「中途採用」が69.0%（63.2%）と多くの企業が回答しており、人材確保が課題となっていることがうかがえる。
特に、規模別では「新規採用」は「大企業」が75.0%、「中小企業」が50.3%、「中途採用」は「大企業」が66.7%、「中小企業」が69.2%と高く、企業規模に問わず、人材確保が課題となっていることがうかがえる。

（４）資金調達等

選択肢　【複数回答可】	回答数	割合（/n）
設備投資資金	34	19.5%
運転資金	45	25.9%
研究開発資金	4	2.3%
助成金等の情報取得	64	36.8%
計	147	
全体の回答者数（n）	174	



「助成金等の情報取得」が36.8%（36.0%）と最多となっている。
また、業種別にみると「助成金等の情報取得」は「建設業」と「卸売業」が多く、「運転資金」では「卸売業」が多かった。